

先進医療としてがんゲノム診療を開始しました

当センターは今年3月に国立がん研究センターと連携してがんゲノム医療を行う「がんゲノム医療連携病院」（国立研究開発法人国立がん研究センターによる説明は[こちら](#)）に指定されました。

9月14日より、国立がん研究センター中央病院が代表となって進める「遺伝子パネル」（NCC オンコパネル：国立研究開発法人国立がん研究センターによる説明は[こちら](#)）検査を用いた先進医療に、当センターからも参加できるようになりました。

この「遺伝子パネル検査」では、対象となる条件に適合した患者さんに対して、1回の検査でがんに関連する114個の遺伝子の変異を調べ、治療効果が期待できる薬などがあるかどうかを調べます。ただし、検査を受けても遺伝子に異常が見つからない場合や、異常が見つかっても治療に使用できる薬がない場合もあります。

先進医療に参加して検査をご希望される方は下記をご参照いただいて、末尾の問い合わせ先までご連絡下さい。

① 対象となる患者さん：

1. 年齢が16歳以上である。
2. 全身状態が不良ではない。
3. 悪性固形腫瘍（固形がん：注1）と診断されている。
4. 治癒切除不能または再発の病変を有する(1)または(2)の腫瘍。
(1) 確立された標準な治療法（標準治療）がない、標準治療が終了している、もしくは終了が見込まれる固形がん
(2) 原発不明がん（注2）

注1 固形がん：がんのうち白血病やリンパ腫をのぞいた、臓器や組織でかたまりを作ってふえるがん（例：胃がん、肺がん、乳がん等）のことです。

注2 原発不明がん：がんの転移巣が先にみつきり、もともとの発生した臓器がわからないがんのことです。

② 検査結果が出るまでの時間：

検査は血液とがん組織の検体を使って実施します。がん組織の検体は改めて生検により採取する場合があります。検査が順調に進んだ場合、検体の提出から、およそ1ヶ月で検査結果をお伝えいたします。

③ 患者さんの費用負担：

今回のがんゲノム診療（遺伝子パネル検査）は先進医療として実施いたします。遺伝子パネル検査にかかる費用は保険外診療となり、患者さんには約45万円をご負担いただくこととなります。これ以外の検査と診察は一般の保険診療となり、約2万5千円の負担となります。

なお、遺伝子パネル検査の結果、遺伝子に異常が見つからない場合や、異常が見つかって治療に使用できる薬がない場合でも上記の費用をご負担いただくこととなります。

④ 検査の受付期間：

当センターでの患者さんの受付期間は、2018年9月14日から2019年3月31日の予定ですが、患者さんの登録数が予定数に達した場合、早く終了することがあります。登録数は、この先進医療に参加する施設全体で、最大で350名となっています。

⑤ お問い合わせ先：

当センターを受診されている方は担当医あるいは当センター代表電話より**患者支援センター がん相談支援室**にお問い合わせください。

当センターを受診されておられない方は当センター代表電話より**患者支援センター がん相談支援室**にお問い合わせください。

神奈川県立がんセンター 患者支援センター がん相談支援室
電話 045-520-2222（代表）

受付時間 9時～16時